

● 蛍の夕べと里山音楽会 15日(土) 突然の雨にも負けず20時まで頑張る

14日の天気は良かった。天気予報では、明日は強風と強い雨が降水確率80%ということが繰り返されました。主催者である、やましる里山の会の理事を筆頭に準備作業にご参加いただきました。皆様はとりあえず適当に準備をしておくが明日は、中止の公算が大きいからとのことで、本日中に中止を決定しておけばという状況でした。事務局会議では、判定は当日の朝・現地判断という打合せだったので中止決定にはいたりませんでした。

当日は曇天で雨は、こぼれませんでした。正午ごろには晴天で、太陽も顔を出していました。少し怪しい天気でしたが、集合時間には、それぞれご家族が集まってこられました。開会の挨拶とセレモニーのあと白土山洞穴ルートに出発しました。教育棟に残った人はエンドウ豆の後始末に取り掛かりました。片付が終わった16時ごろに空が急変し、雨がぱらつきました。マイク一杯のボリュームで急いで戻るように呼びかけました。声が良く届いたようです。帰り道に向かっていたようです。元気な返答がありました。少しの間をおいて雷が鳴り、大雨粒に変わり一挙に降りかかりました。最初に戻ってきた人は幸い濡れませんでした。次の人からは、ずぶぬれになりました。急な坂道を降りなければなりませんでしたが、全員無事に帰りつきました。教育棟は、かなり広く大きな天井でしたが、雨の降り方が尋常でなく、しぶきが襲い掛かり、会議机も床もすっかり濡れていました。雨脚が弱くなり、着替えなど対策を機敏に行って、急をしのぎました。さすがこんな天気を計算して準備されて来た皆さんの知恵に驚きました。

それでも予想外の状況となって、ショックあって大変と気づき 今必要なのは空腹を満たすことだと判断して、予定を早めて夕食を食べることにしました。いつものことで、変更もしばしば、でしたので、食事担当者も心得ていただいて、早くからカレーも、ご飯も炊き上げてくれていたので、急場をしのぎ、落ち着きを取り戻しました。緊急事態が発生して急場の変更に対応して心得た手配が出来て、ピンチを脱出できました。子どもたちも、お腹がふくると落ち着きを取り戻して、楽しい雰囲気になりました。

頃合いを見て、森島さんが里山クイズを行うと宣言して、日本一長い川はどこ、日本一高い山の名前は、などわかりやすいクイズを出してくれました。徐々にみんなが引き込まれ、真剣に考え出しました。ちょうど、お菓子を持ち込んでくれていた芳川さんが残してくれたどんぐりあめが20個ほどあったので、正解者に渡しました。どんぐりあめが底をついてきたので、取りたてのキュウリを代役にしました。これをもらったお子さんは、早速かじってくれました。楽しい商品がもらえて会場が和みました。臨機応変のプログラムの変更でしたが、いい進行となりました。

ここで里山音楽会に移り、ピアノ演奏では一年生の山村奏太郎君の演奏に聞きほれました。お母さんの演奏が里山農園に響きました。続くバイオリン演奏にも心が引き寄せられました。常に出演していただいている大正琴にも引き込まれ、懐かしい歌声に参加しました。

最後の出し物のヤマトサンショウウオ池の夜間撮影カメラの映像には全員が目を皿のようにして、太田さんの説明を聞きました。リクエストと言って何回も何回も上映がせがまれ、予定時間を大きくオーバーしました。

7時50分ごろには止んでいた雨が再度振り出しましたが、後かたづけは明日にして、場所移動です。暗くて足元が濡れているのですが、誰も苦情を言わず、落伍者は一人もなく、炭焼き小屋に到着しました。少し雨脚が強まりました。この調子だと蛍の飛翔は無理ではないかと心配しました。

ところが袖に止まってくれた、傘に止まってくれた。飛んでいるところを見た。高く舞い上がった。くさむらで点滅したと。様々な反応が聞かれました。心配が吹っ飛びました。捕まった蛍は元のところに戻してねとお願いすると、素直に逃がしてくれました。小さな命、わずかに残っている生き物を大切にしようという気持ちが伝わり、うれしくなりました。

悪天候の中、様々な準備を行っていただいたスタッフの皆さん、素晴らしい取り組みになり、心温まる催

し本当に良かったと思います。ご苦勞が報われたようです。翌日の後始末には9時にご集合いただき手早くかたづけしていただきありがとうございました。

● 京都府交響プロジェクト交付金申請

申請期日7月1日（月）6項目の取組を一セットとして申請するつもりです。1：京都子どもの水辺 2：親子で遊ぼう学ぼう魚とり 3：中聖牛の設置 4：竹蛇籠の製作講習会 5：普賢寺地域・里山農園付近の生き物の写真集の作成 6：地域説明会(木津川の歴史と生態を多くの皆さんにお伝えする場)です。

昨年は7項目でした。今年から重点課題と基盤整備の2部門での募集に変わったので、18日に京都府の担当者を訪ねて、ポイントを教えていただきました。これまでは、すべて1本での受付だったが、2部門に分かれた。そして金額枠が設けられたので、従来方式での申し込みは、厳しい審査が予想されようでした。また福祉部門が新設されているので、目的にしっかり取り入れられると面白いとお聞きしました。

昨年入会していただいた大釜様に申請書の最終提出の記入をお願いしました。大奮闘の結果申請書は出来上がったのですが、この情報が伝わっていなかったため、再記入になりました。新レンジャーとしての本格的な取り組み準備の中、頑張ってくださいました。25日に第1次に申請書の提出と頑張っています。交付金獲得が出来ればいい取り組みがきると思います。

●年度報告書を法務局と京都府への提出 完了

年度末には必要な手続きを期日に終わらさねばなりません。年度末には、このような重要で避けられない取り組みが重なって、大仕事が大変遅れました。特に今年は国交省への報告 会誌46号の発行、京都府への決算報告、法務局への総会決議の報告、そして、新年度計画の確立と人事問題が一度に集中しました。新理事長深田さんのご奮闘もあって、期日に間に合わせる事が出来そうです。

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり 22日(土)に開催

集合9時30分 山城大橋西詰下 野球場駐車場 時間厳守で現地に移動となります。この日は新レンジャーの養成講座が重なって、木津川のレンジャー全員が講座の担当になるので、里山の会の主力で実行することになります。幸い参加者は少なくなっているため、何とかこなせそうです。募集方法を変更したので、周知徹底が弱くなってしまいましたが、手ごろな規模になったのではないかと思います。第4回目からは本格的な取り組みにして行きたいと思います。梅雨とのことなので、雨天が心配です。これも現地で当日の朝決定します。

●オオムラサキ観察会

6月30日(日)～7月6日(土) 毎日、午前10時～午後3時まで

集合場所:里山農園、(普賢寺小学校前)

ここしばらくオオムラサキの生態の確認が出来ていません。今年はどうしても出会いたいものです。世話係の金田さんには、トラップの設置をお願いしています。間隔をあけた一週間ごとの間隔の観察ではなく、一週間毎日観察を行うことに変更しました。時間がおありの皆様、どの時間帯でもいいですからこの7日間お手伝いにお越しく下さい。お待ちしております。

●今年最後の オオムラサキ観察会7月13日(土)

10時集合～12時 ご参加は15時まで可能です。これまでの経験からこの日あたりが、最後の観察の機会と計画しました。最終番として確認できるのではないかと考えました。今年最後の取り組みですので、多くの方々のご参加をお待ちしています。気楽にご参加ください。